

## 団体ヒアリング意見要旨

## 実施概要

調査対象	ヒアリング実施日時	実施会場
山元の未来への種まき会議	平成31年1月27日(日) 15:30~16:30	山元町防災拠点・山下地域交流センター3階 会議室6
なかよし会	平成31年2月7日(木) 11:15~12:10	山元町こどもセンター内
成人式実行委員会	平成31年2月9日(土) 16:00~17:45	山元町防災拠点・山下地域交流センター3階 会議室7

調査対象	意見
山元の未来への種まき会議	仕事や住まいに関して、若者が気軽に住むことのできる環境が整っていない。ソフト面でも若者がはいつてきやすい環境だと人口が増えてくるのではないかと思っている。
	人口減少になれば農家も減っていく。整備された農地は山元町にしかない財産。
	農業の新規就業の機会と移住を考えている人のマッチングの場や環境を整える必要がある。
	もともと住んでいる人と移住者との折り合いができておらず、よそ者はなじめない点があり、せつかくの移住者がすぐに引っ越してしまうことが多々ある。転出を防ぐために転入者に対する意見交換会を開催してはどうか。
	役場に町民として意見をしに行っても聞く耳をもってもらえない。行政としての問題、町民同士のつながりの問題がある。
	ベッドタウンとしての環境がそれでもまだ進んでいない。交通環境、住むと恩恵が受けられるといった支援体制ができていない。ベッドタウンとなるには町の施策はそれを全く無視していると感じている。
	鉄道は複線化するべき。
	仕事を仙台に持っているが駅前の駐車場に月極めがないため浜吉田駅に月極めを借りている。
	共働きで子どもを預けるとなった場合に、特に保育所は利用できる時間が短く仙台から帰ってきて仕事の終わりまで預けておくことができない。これでは仙台に仕事がある夫婦は、子どもができると町外に出なければいけないということになる。
	保育所や交通の問題のほかにも、土日は町内の店も閉まってしまうなど不便なことが多い。買い物に行くのに、岩沼などに出してしまうのであれば、平日も休日も町外で過ごすことになる。実家に残る理由がなければ、住む理由がない。
	新市街地で分譲した宅地は坪約5万円、こんなに駅が近いのにとっても安い。
	インターン関係に携わっており、頑張っている事業者が多くいるが、一方で働く人がすぐにやめてしまう。若い人がまちづくりに関わられる仕組みがあると良い。
大学でも、地域づくりに特化した学科も増えている。一定数、若い年代で、まちづくりに興味を持つ人は増えているし、必要以上に飾り立てる必要なく、魅	

<p>力を知ってもらう取り組みがあると良い。</p>
<p>事業所の定着率が低い。町外からの入ってくる製造業以外の事業所に対する支援・フォローが弱く、住む際に不安を覚えてしまう。</p>
<p>住みやすい条件が多数あるにも関わらず、学校を減らすなど必要以上に人口減少を気にしすぎた政策となってしまう。そのような場所には若い人は移住してこない。子どもを育てるのに優しくない。減ることだけでなく、人口を増やすことを考えるべき。</p>
<p>坂元駅前にはせっかく産直ができるのに、解放している駐車場が少ない。山下駅の駐車場は余るほど広いのに対して、坂元駅は足りていない。押しが足りない気がしている。</p>
<p>町としての魅力を外へ向けてアピールをしてゆくべきである。</p>
<p>事業所内での若者世代にきくと、白石や角田のほうが子育てに手厚いとのことで、山元町への定住意識は低い。</p>
<p>駅前の開発はできたがそれ以外の地区の駅へのアクセスが弱い。</p>
<p>「魅力あるまちを PR」することで転入者が増えている町は全国にもたくさんある。視察や先進地事例も参考にしてほしい。</p>
<p>山元町の魅力を発信する観光協会がない。商工観光課なども組織として町外へアピールしてゆくべき。</p>
<p>町が知られていない。ハローワークに求人を出して手を挙げてもらってもだれも学生は来ない。種まき会議等でいいところを掘り返しすることも大切。</p>
<p>企業誘致にしても、町の知名度が必要。</p>
<p>町に残る理由と来る理由を考えたまちづくりを行うべき。</p>
<p>震災以降、ひだまりホールなどもでき、様々な施設を作ってはいるが、運営をする人・ソフト面に対応する人がいない。ハード面は充実しているので保育も観光もソフト面を充実させるべき。</p>
<p>震災直後、他の町の人から、「山元町は役場がアレだから、大変だね」と言われた。役場の気質の問題もあると思う。役場と町民の繋がりを強くし、役場として町民の意見を聞く姿勢、聞きに行く姿勢を身に付けてほしい。</p>
<p>コダナリエのイルミネーションやひまわり祭りなど、観光資源はいろいろなどころから出てくる。埋もれたものを積極的に発掘する姿勢も役場に必要と思う。</p>
<p>町民を見れば、自ら動いている人がいっぱいいる。そういう人と、町がちゃんとつながっていけば、面白い町ができると思う。</p>
<p>町にまかせっきりで不満を言うのではなく、民間のレベルで対等にやっていく必要がある。役場だけに任せるのではなく、町民自らも行動する姿勢も重要と考える。</p>
<p>役場庁舎を作る際には町民に意見を求める機会があったが、坂元の産直を作る際にはなかった。進め方にも疑問を感じる。チーム山元の体制になっていないように感じる。</p>
<p>町民の意見が行政に届くように「条例化」など、体制や仕組みを整備する必要があると考える。</p>
<p>前回の計画策定では、3年をかけて今回よりももっと多くの審議が重ねられ、多くの人の意見を集めた。どのような意見も聞き逃さないように意識することが重要と思う。様々な意見を繋いでゆくものであり、ただ冊子にすればいいという話ではない。</p>

	町民・役場一緒に汗をかくことが必要。町民がいろんな苦情を言うが町を思っ てのことと考え、そのような意見を大切にしなければいけない。
なかよし 会	小児医療や病児保育の充実を図ってほしい。充実させればこれから子育てを考 えている若い人も町に来てくれるのではないか。子育て世帯にとって病院の要 素は需要。
	既存の病院も子連れで行けるように充実してほしい。親が病気になった際に、 子連れがダメだと親は病院に行けない。子連れで病院にはなるべく長居したく ないし、病院で待ち時間があるなら、待ってられるような仕組みがほしい。 子どもも親も安心して医療が受けられる体制づくり。
	こどもセンターは室内で遊べるがルールが多すぎて自由に遊ぶという感じ ではない。キッズワールド（白石市小十郎キッズワールド）のような、お金を払 ってでも一日中アクティブに遊べる場所があるといい。
	もっと町内に子育て世代を呼び込みたいくらい充実してほしい。
	年の違う子どもと一緒に遊ぶことのできる場所がほしい。年齢の違う子ども （多子）を抱える親にとっては、子どもたちみんなが一か所で遊べる施設、環 境が整うととてもうれしい。
	山元町は生活していると何かをするためにどこかへ出かけている。山元町は住 んでいるだけの場所であり、子育てをするにも買い物をするにも山元町だけ では済ますことができない。だから町外に引っ越した人は地元に戻ってこない。 結婚して子どもができて戻ってきたいと思わない。
	せめて100円ショップがほしい。子育てに直接の関係はないと見えるが、入学 の準備などに必要。町内での買い物ではなく、町外にみんな買い物に行っ てしまう。
	町でフリーマーケットができると良い。せっかく中央公園のような芝生もある し、こどもセンターもあるので会場にしたらい。子どもはすぐに服のサイズ が変わるのでフリマがあると利用する。
	フリマには町外から目当てで来る子育て世代もいるだろうし、何より町内の子 育て世代に喜ばれると思う。フリマでは買いたい気持ちもあるし、家の中の「も ったいないもの」を処分したいという気持ちもある。せっかく買ったのにまだ 使えるおもちゃなどを処分することもできる。
	フリマでなくとも役場で回収して、ほしい人に渡すという方法もいいのでは ないか。町の広報などで「ゆずります」という広告があれば、マッチングするこ ともできる。
	子育てするなら山元町と言っている割には子育てがしにくい。施設は作って終 わりになっている。
	駅や公共施設のトイレに子ども用のトイレがあるか、庁舎などに授乳室など子 育てに配慮した設備があるかなど子育てしている人はそのような点を子育て アプリなどでチェックしている。そういった点の気配りの様子が見えれば良い と思ってもらえる。
	役場に物を訪ねるのだけでも緊張する。何か迷っているような素振りを見たら、 声をかけてくれるようなことも必要ではないか。子連れでも行ける雰囲気 を作ってほしい。窓口におもちゃが一つあるだけで、気配りが見えるし、子ど もと一緒にでもいいのだと思える。手続きをするときに子どもの気をひくことが できるようになるので助かる。

中央公園やこどもセンターは給水所が遠いので、のどが乾いたらフレスコキクチまで買いに行かなくてはいけない。自販機があれば非常に助かる。
こどもセンターは駐輪スペースが遠い。小学生がこどもセンターを利用したい場合の動線が気になる。
つばめの杜ひだまりホールの喫煙所が出入り口にあるのはどうかと思う。妊婦や子連れはとても気にしている。もっと奥まった場所に移動するか、専用の個室にするかの配慮をしてほしい。風向きで煙が流れてくることも嫌悪感がある。新しい役場でも同様の配慮が必要である。
七ヶ宿町で子育て世帯を呼び込むために「小中学生給食費無料」を打ち出している。非常に大きな決断をすることになると思うが、子育て世帯の移住につながるにはそのような大きな取り組みが必要だと思う。
医療費だけでも拡充してもらって大きく変わった。巨理でしていないことを山元町がやれば、本当に移住を考える人が増えてくると思う。兄弟を増やすとなった時の負担軽減になる。
保育所に入れる枠の確保が必要。保育所としての施設はあるが、このつばめの杜保育所しかない。第1子を新規で保育所に入れられるかの確証がない。
長い目で見れば子どもは減少するが、いま子育て世代を呼び込んでいるのであれば、共働きも増えるので、保育の現状を打開すべき。同時に児童クラブも施設が足りなくなると思う。
子どもセンターの入り口や部屋のドアは子どもが一人で出入りできるようになっており危険な場面もある。早急な改善が必要である。
一時保育の書類の簡略化や利用料の支払い方法の改善を行ってほしい。利用料の支払いは子どもをこどもセンターに預けている間にできるようにしてほしい。支払を別日になって役場にわざわざ行っている。手間がかかるので利用しにくい。
今回のヒアリングは非常にありがたいと思っている。普段思っているも、一般の母親は意見を言う機会がない。今回のために、ライングループでみんなに意見を募ったら、ものすごく意見があった。今後も意見を言える場を小さい規模でもいいので開催してほしい。大きい場だと緊張してしまう人もいる。一人あたりの時間も減ってしまう。
委員会など、会議に参加している一部のお母さんもいる。言いたいことを言いたくても言えない。子連れでも気にしなくても大丈夫なように、誰でも参加できる場を用意してもらいたい。
役場 HP に掲示板のような、気軽にかつ継続的に意見を言える場があると良い。役場に直接行くのはハードルが高い。
少年の森は今までの遊具をなぜ壊してしまったのか。新しいものは対象年齢がぐっと高くなって、0歳から2歳までの子どもは遊ばせられない。
近くに神社やちょっとした公園があっても遊具がサビ等の老朽化が進んでおり、安心して遊ばせられない。寄付された遊具なので誰が管理したら良いか決まっていないようであり、撤去や安全点検の仕方もわからないようであった。気軽に遊べる場所が少なくなっている。
一か所に大きな公園ができたが、一点に集中しないで、散歩していける距離にも公園があるといい。前まで遊具があった近くの公園も、危ない遊具は撤去され、ベンチだけの広場になってしまったところもある。
子育て世帯を呼びたいのなら、なぜ公園を作らないのか。ベビーカーを押して

	お散歩できるような環境があると良い。小さい子ほど荷物も多くなるので、気軽に行ける環境があると良い。
	子どもが減るからと、全て廃止してしまっている。子どもが少なくなることを理由にして政策をしているのか、これから子ども呼び込みたいと思って政策をしているのか、どちらかよくわからない。
	子育て世代を呼び込みたいのなら、掲げられるものをちゃんと明確にして、細かいものでも意見を吸い上げて反映していく（叶えていく）必要があるのではないか。
	山元町には土地がいっぱいあるし、亘理に比べても地価が安いので、増やそうと思えばいくらでも子育て世代は呼び込めるはず。
	月に1回、広報にも掲載されている「育児相談」がある。「相談」という言葉だと悩んでいないと行けないように重くとらえてしまう。もっと柔らかい名前にして、気軽に行ける場所にするべき。
	自分たちは未就学児の親だが、子育て世帯の意見を聞くなら、小学生・中学生の親にも聞くべきと思っている。その立場で意見も違うと思う。
	子育て世代は広報をみんなよく読んでいます。広報に習い事・学習塾の情報などが載っていて知れるとうれしい。今は、人づてに聞くしかない。幼稚園に通わせていると空手の案内などは来る。保育所でも渡すようにしたらいいと思う。
	家庭内保育をしている世帯は外からの情報が何もない。積極的に子育てサークルなどに出かけないと情報が全くない。育休をしていると社会から隔離されているような感覚になる。町にある習い事の一覧があるとうれしい。広報誌への掲載や、サークル活動の時に簡単に配布してくれるだけでも得られる情報量は違う。
	広報には一般の求人が載らないのか。役場職員、臨時職員の求人だけではなく、町内の色々な求人を載せてはどうか。自分たちのように、子育てが落ち着いたから、少し時間ができたのでそろそろ働きたいという人もいると思う。
	放射線量を気にする親御さんは多い。野菜などの検査結果は出ているが、公園などの場所別はない。ドングリなどを子どもは口に入れたり、持って帰ったりする。原発被災はまだ終わったことではなく、欄を作っているのなら測る項目を増やしてもよいのではないかと。心配よりも安心したい気持ちが多い。
	元の町民プールのような施設がほしい。角田や新地などを利用している。
	子育てするなら山元町というのなら、役場職員が町内に住んで子育てを行い、「山元町ならここまでできる」といったモデルになるべきかと思っている。役場職員も自分たちが使って積極的に山元町の子育て、人口増加に参画していくと良い。
成人式実行委員	役場に入って、町のことを全然知らない自分に気づいた。もっと町のやっていることが町民に浸透していくようになればよい。町民が登録するメール配信サービスに、もっと面白い情報を掲載して発信したらよいのではないかと。
	多賀城に住んでいるが、仕事先で山元町の話となるといちごの話題となる。そのほかにおいしい店などの話で盛り上がることもあった。そのような県外から集客できるようなものがあればいいと思う。
	成人式のような節目の大きなイベントではみんなが集まることができた。25歳、30歳といった節目に盛大なものがあると、また集まるきっかけになるのではないかと。
	レジャー施設がほしい。サッカーができる場所も町内にはない。町外に出て遊

ぶしかない。町外では人工芝などより整った施設がある。贅沢かもしれないが専用施設がほしい。
山元町の婚活イベントにはどのくらいの人が参加しているのか。
仕事で山元町に来たが宿泊所がないため、多賀城から3日間通った。仕事の利用でも町内に宿泊所があるとうれしい。
山元町は近くに大学などがなく、少し離れた場所だからこそ合宿利用などで使えるのだろうと思った。
住み続けたい理由としては「地価」も考慮にある。
仙台市内の大学に通っているが、仙台には当たり前のように通学でき、雪も降らない。わざわざ出ていく理由がないし、悪いところがない。一人暮らしに対する不安もあるので、実家にいたいという気持ちもある。
通勤で、小中学生の通学と重なると非常に危険を感じる。特に寺嶋葬祭、鈴やのあたり。改善してほしい。
震災の数年後に、旧山下第二小学校の元の通学路を通ってみたが、浜通りにいくにつれて道路環境が悪くなっており、沿岸部に住んでいる世帯もいるので不安、不便に感じているのではないかと思う。
空き地だらけという印象を受けた。
大学専用の合宿施設の整備に力を入れてほしい。自分も利用するし、山元町に電車1本でくることができるという利点もある。大学生の新生歓迎会でも需要もある。観光じみた感覚で合宿、研修したいという需要もある。
情報発信は、町の公式ツイッターやインスタグラムの制作が必要ではないか。個人での発信力は弱い。公式での対応であれば、良い写真、良い文章で発信される。それをフォローするだけで全国に情報が発信される。一個人での発信より情報量と信頼性が高いと思う。
町で婚活に率先して取り組むのは、良くない現状があるからだとは思いますが、逆に全国で取り組みをしていないからこそ、積極的に取り組んでみてもよいと思う。
防災無線の戸別受信機があるのは良いことだと思う。最近、調子が悪くなっている。
法人化したイチゴ農家のように、こういった町を良くしようという取り組みを「町民自らがやる」ことが大事だと思う。木下斉著「地方創生大全」にもあったが、「町民が動く」ことが大切だと思う。
人口減少も含め今後の状況の良し悪しも情報を発信して、きちんと町民に理解してもらうことが大事。それに付随しての意見になるが、中学生時代に町予算を「1万円に表すと」というのが教材になったことがあり、非常にわかりやすく、中学生だけでなく町民にとってもためになるのではないか。
個人に向けて発信しても解消できない部分もあると思うので、コミュニティ単位での取り組みを促したほうが良い。同じ年代の子どもたちを持つ親世代への働きかけなど。
保育所の親の会などの組織や3歳児健診など、そういった機会や場面を増やし、活用することが必要だと思う。情報共有ができる場があり、一人で取り組むのではなく、みんなで仲間になって取り組んだほうが良い。